

令和7年度 全国病院歯科衛生士連絡協議会 実施要領

1 目 的

本協議会では、病院に勤務する歯科衛生士が、多職種連携や地域連携における知識・技能の習得及び最新の情報の共有化を図り的確に対応することを目的として開催する。

2 開催趣旨

近年、周術期等口腔機能管理などの広がりや、チーム医療のなかでの歯科衛生士の重要性が医科に知られるようになり、病院に勤務する歯科衛生士は年々増加しています。今まで『病院＝口腔外科』というイメージがありましたが、現在では歯科標榜のない病院にも歯科衛生士が勤務することも増え、ひとくくりに『病院歯科衛生士』といっても、病院の形態により勤務する歯科衛生士の業務内容は様々です。また、歯科標榜のない病院では、少人数で勤務している場合も多く、悩みや問題を一人で抱えている場合も少なくありません。

今回の協議会では、病院形態の異なる歯科衛生士から業務に関するレクチャーを行い、病院歯科衛生士の役割を再確認するとともに、お互いの問題点や悩みを共有しつつ、情報交換し合う場を提供したいと考えています。

併せて、厚生労働省医政局歯科保健課長小嶺祐子先生からのご講演をいただき、国が考える歯科保健医療の動向を直接お伺いできる貴重な機会を皆様と共有し、歯科衛生士の連携を推進していきたいと思います。

3 開催日時

令和7年11月1日（土）13：30～16：30

4 開催場所

東京科学大学湯島キャンパス 3号館

5 開催方法

歯科衛生士活動推進事業

6 実施主体

公益社団法人日本歯科衛生士会（担当：病院委員会）

7 参加対象者

都道府県歯科衛生士会の病院歯科衛生士担当者および趣旨に賛同する歯科衛生士

8 プログラム

13:00～	受付開始
13:30～14:30	講演「歯科保健医療の動向（仮） 講師 厚生労働省医政局歯科保健課 課長 小嶺祐子先生 （会場：3号館3階 医学科講義室2）
14:30～14:50	休憩（会場移動）
14:50～16:30	テーマ：病院における歯科衛生士の役割 （会場：3号館8階 保健衛生学科講義室2） 急性期病院・回復期リハ病院・歯科標榜のない病院など様々な病院で活躍する5名の歯科衛生士からミニレクチャー 情報交換会